

施設運営のための規約とフリースペースの検討

2021年1月16日(土)9時30分~12時、代田南地区会館大会議室で、第5回(仮称)花見堂複合施設活用推進ミーティングを開催しました。

前半は10月のプレ会議の内容を反映した施設運営組織規約(案)をグループで意見交換し、役員の位置づけや会費の徴収の必要性などについて議論しました。

また、花見堂複合施設の名称(愛称)の決め方についても意見交換し、規約については次回合意を図り、名称については引き続き来年度検討することになりました。

後半は、フリースペースの活用とデザインについて検討しました。花見堂小学校の校庭にあった樹木や、11月に代田南児童館・地区会館で実施した「木を活かそうワークショップ」で伐採した樹木の活用、花見堂小学校の記憶をどう留め、次の世代にどのように引き継いでいくか、さらに、ここで新しい伝統をつくるために何をしたらよいか、など、活発な意見交換が行われました。

次回は、いよいよ今年度の最終回です。2020年度の活動と議論した内容を振り返り、とりまとめます。2021年度はいよいよ施設開設の年です。ふるってご参加ください。



第5回参加者数

地域の方16名、区職員5名、事務局4名 計25名

第6回 活用推進ミーティング (今年度最後)

令和3年2月21日(日)

午前10時~12時

代田南地区会館大会議室

今年度の進め方

第1回
・今年度の進め方
8月1日
(終了)

第2回
フリースペースのイメージ、オープニングイベント等の企画
9月13日(日)
(終了)

第4回
新施設フリースペースのレイアウト検討
11月15日
「木を活かそうワークショップ」
11月21日
(終了)

第3回
団体の利用、フリースペースや広場のルール
10月11日(日)
(終了)

第5回
・規約づくり
・施設愛称の公募方法
・フリースペースレイアウト
1月16日(土)
(終了)

プレ会議(ワーキング)

第6回
・今年度のまとめ
・決定事項の合意
2月21日
(日)

令和3年度

イベント実施

準備会立ち上げ

ミーティングでの主な意見

<施設の理念について>

- ・この施設の理念に常に戻れるようにしたい（憲章のようなものがあると良い）。花見堂小学校は、環境の良い、地域に守られた印象のある学校だった。新しい施設は、こういう土壌を引き継ぐことが必要。形をかえた地域の「学校」である。

<施設での飲酒の可否について>

- ・上と関連して、施設の性格には、子どもの健全育成と地域のコミュニティがある。今の時代、ここで飲酒が必要か。禁止にした方がよい。
- ・一律禁止ではなく、節度ある利用を前提として届け出制にしてはどうか。

<役員について>

- ・誰がなるのか。個人か、団体の人か。一からの取り組みになる。
- ・最初はどこで決めるのか→準備会で、地域で決める。
- ・仕事をしている人、高校生なども役員になれると良い。
- ・建物管理者は区の委託管理者で、運営は地域。委託管理事業者は運営をサポートする。
- ・区は会議に参加するのか。→参加するが関わり方はオブザーバーと考えている。

<会費について>

- ・なぜ会費が必要なのかまだ十分に理解出来ない。→施設の管理は区から委託された事業者だが、運営は地域が行う。そのためには運営費がかかる。
- ・団体の人数や使用時間により負担感が違うので、公平なしくみが必要。
- ・初期投資は会費で負担するのか。→HPの立ち上げなど必要であれば、区にて予算計上を予定。会と施設の備品の区分け等は今後検討が必要。
- ・ランニングコストは何にどれくらいかかるのか検討が必要。→まもりやまテラスでは、ホームページの管理について区から委託料を出すという手法をとっている。
- ・Wi-Fi設備はないので、設置するなら、会で準備する必要がある。
- ・会としての活動であれば（けやきネットではないので）施設利用料はかからない。会員としての利点もわかると良い。

<施設愛称>

- ・事務局案では、一次選考は準備会と区が行い、オープニング後に公開の投票で二次選考をすることになっているが、オープニング時に愛称が決まっていなくて良いのか。
- ・完成前に名前（愛称）は決まっていた方がよい。
- ・オープニングイベント時に参加で決めると住民の参加感がある。（事務局案のように）オープニングイベント時にやると地域に広がる。
- ・決め方は密室にならないようにしてほしい。
- ・ロゴもあわせて募集できないか。
- ・最終案の選定方法は引き続き検討する。

<フリースペースのつくり方>

- ・中央の動線はできるだけ空けておく。
- ・テーブル、イスは、ここが小学校だったという経緯を引継ぎ、小学校の机をイメージしながら、花見堂小学校や代田南地区会館・児童館の樹木を活用する。
- ・机を並べ変えて、組み合わせで大きく使ったり、個別に使ったりと、まさに小学校の机の使い方のイメージを再現する。
- ・自分達で自由にレイアウトを動かせるようにするのは良い。
- ・机の装飾に、木のピースをはめ込むなど、参加型でつくる。

<メモリアルコーナー>

- ・階段の下にメモリアルコーナーをつくるが、できるだけ視界をさまたげないようにしたい。
- ・固定的にしてしまうとフリースペースに対して圧迫感がある。
- ・メモリアルの備品は、常に同じものがあるのではなく、季節によって変えるとか、新たに地域の団体が賞をとった時などのトロフィーと併せて過去の写真を探してきて展示したりと、アイデアを出しあって、企画展的にする。
- ・動きがあることで、見てもらえるようになる。
- ・メモリアルの品は地域室などに収蔵しておく。